学校番号	3024

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の地理Ａ（帝国書院）　詳解現代地図（二宮書店）						
副教材等	新詳地理資料　ＣＯＭＰＬＥＴＥ　2020（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地図帳を有効に使い、地図という観点から学習する。
・自然環境と人々の生活を関連付ける。
・日本と世界の地域の異質性、共通性に着目する。

２　学習の到達目標

・現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察することができる。
・現代世界の地理的認識を養い、地理的な見方や考え方を身に付ける。
・地理的認識、思考力を身に付け、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的な諸課題や地域性について、関心を持ち、意欲的に追求しようとしている。	現代世界を世界や日本という多角的な視野からとらえ、思考、判断、表現することができる。	地図で表現されている特徴を読み取り、有用な情報を白地図などにまとめたり、統計地図を使ったりすることができる。	現代世界の地理的な諸課題を歴史的な背景や日常生活と関連させながら理解することができる。
評価方法	定期考査	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	・旅からとらえる現代世界	・情報通信・交通 ・地球儀と地図 ・緯度と季節 ・時差 ・国家 ・日本の領域と領土問題 ・国家間の結びつき ・貿易	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	○ ○	a:世界的視野から現代世界を捉えようとしている。 b: 世界における日本の位置や現状と動向を判断できる c:地図の比較、読図ができる。 d: 主題図などから世界の諸事象を理解できる。	ワークシート 定期考査
	・世界の自然環境と文化	・地形 ・気候 ・文化	 ○	 ○ ○	○ ○ 	 ○	a:世界の諸地域の多様性を受け入れる態度をやしなう。 b:環境・生活・宗教のかかわりを考察できる c:世界の諸地域に関する、雨温図や主題図から地理的な特徴を読み取ることができる。 d:日本との共通性や異質性を理解できる。	ワークシート 定期考査
2学期	・世界の諸地域の生活・文化と環境	・東アジアの暮らし ・東南の暮らし ・南アジアの暮らし ・北アフリカ・西アジア・中央アジアの暮らし ・中南アフリカの暮らし ・ヨーロッパの暮らし ・ロシアと周辺諸国の暮らし ・北アメリカの暮らし ・中央・南アメリカの暮らし ・オセアニアの暮らし	○	○	○	○		ワークシート 定期考査
	・地球規模で広がる課題	・人口問題 ・食糧問題 ・都市・居住問題 ・資源・エネルギー問題 ・環境問題 ・地球的課題の解決に向けて	○ ○ ○ ○ 	 ○ ○	○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ 	a:持続可能な社会の実現を目指ざす態度をやしなう。 b:地球的課題を地球的および地域的視野からとらえ、考察できる。 c:地球的課題に関した資料を的確に読み取る技能を身に付ける。 d:地球的課題が地域を越えた課題であるとともに地域によって現れ方が異なっていることを理解できる。	ワークシート 定期考査
3学期	・身近にあるさまざまな地図。	・主題図 ・一般図の利用 ・GISを用いた地図表現	○		○ ○ ○		a:日常生活と結びついた地理的な見方や考え方を身に付けようという態度がある。 b:国内の自然災害について、その地域性をふまえた対応を考	ワークシート 定期考査
	・日本の自然環境と防災	・日本の自然環境 ・防災の取り組み	○	○ ○	○	○ ○		

	・身近な地域の課題と地域調査	・地域調査の方法・実施・発表	○	○	○	○	察できる。 c:目的や用途に適した地図の収集、作成や地形図の読図ができる。 d:わが国の自然環境の特色と自然災害のかかわりを理解している。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。